

令和2年12月15日

発 言 者	発 言 要 旨
菊池(大)委員	令和3年度当初予算要求概要に、「山形方式デジタル授業の推進に向けたICT環境の整備」とあるが、「山形方式デジタル授業」の具体的な内容はどうか。
高校教育課長	これまで培ってきた指導内容に加え、動画やクラウドサービスを活用した授業を目指していきたいと考えている。授業を受けた生徒たちが知識の蓄積にとどまらず、オンラインで大学や企業、海外の技術者などとも連携しながら、知識を実社会につなげていけるような授業にしたい。
菊池(大)委員	今までの山形らしい教育もしっかり担保しながら、山形方式という特色のある教育になれば良いと思う。
菊池(大)委員	冬期間における学校の新型コロナウイルス感染症対策はどうか。
保健・食育主幹	<p>県教育委員会では、冬季における換気の徹底について、室温18度以上を目安に1時間に1～2回程度の換気や、常時少し窓を開けること、学校薬剤師と連携した教室内の二酸化炭素濃度の測定等を通知している。</p> <p>また、教室内の湿度管理については40%以上を目安とし、必要に応じて加湿器の使用や濡れた布等を教室内で干すなどについて通知をしておき、ウイルスの飛散防止のために適度な加湿を指導している。</p>
菊池(大)委員	コロナ対策として、加湿器や二酸化炭素濃度測定機器の導入のための予算は十分確保しているのか。
保健・食育主幹	各学校でコロナ禍以前に感染症対策や施設管理の定期検査のために導入していたものもあり、今年度新たに不足が生じている状況ではないと認識している。
菊池(大)委員	コロナ対策として常時換気等を行った場合、各学校の暖房費等が例年よりもかかり増しすると考えるが予算要求の状況はどうか。
教育政策課長	今年度については年間所要見込額を現在調査中である。なお、来年度については、エアコンの整備による夏季の電気料金の増額を見込んで当初予算の要求をしている。
菊池(大)委員	これから受験シーズンになるが受験会場におけるコロナ対策等はどうか。
高校教育課長	<p>公立高校の受験会場については、座席間の距離を1m程度確保し、マスクの着用や換気等の感染防止対策を徹底した受験環境を整える。体調不良を申し出る生徒、インフルエンザ罹患者は、別室で受験することとしている。</p> <p>また、新型コロナウイルスの感染の疑いがある受験者については、PCR検査結果が陰性かつ入試当日に発熱や咳等の症状がない場合については別室での受験をできるものとしている。</p>
菊池(大)委員	受験者が新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者となった場合、試験は受けられないのか。

発 言 者	発 言 要 旨
高校教育課長	<p>試験は受けられないが、特例措置の対応となる。</p> <p>特例措置の方法は、中高一貫教育における連携型入学者選抜においては受験者があらかじめ中高一貫教育の成果を提出することになっており、これをもとに判断する。</p> <p>また、一般入学者選抜については中学校長等から調査書を資料として選抜を行う予定である。今後、具体的な手続きをまとめた実施要項を作成し、周知していく。</p>
菊池(大)委員	<p>令和2年9月定例会の常任委員会において行方不明者数の質疑を行ったが、直近の状況はどうか。</p>
人身安全少年課長	<p>令和2年11月現在、警察に届け出があった行方不明者数は431人。(前年同期比80人の減少)年齢別として20歳未満が44人、20歳代が88人、30歳代が63人、40歳代が42人、50歳代が52人、60歳代が30人、70歳代が52人、80歳以上が60人となっている。</p> <p>また、原因動機別では認知症を含む疾病関係が104人、全体の約24.1%となっている。</p>
菊池(大)委員	<p>行方不明者を捜索する場合、警察犬を用いると思われるが現在の警察犬の配置状況はどうか。</p>
参事官(兼)刑事企画課長	<p>直轄警察犬は2頭、嘱託警察犬が18頭、合計20頭いる。</p> <p>また、警察犬の活動については令和2年11月末現在で100件あり、行方不明となった高齢者を捜すなどの捜索活動については84件となっている。</p>
矢吹委員	<p>兵庫県で施行された「ボーガンの安全な使用及び適正な管理の確保に関する条例」の概要はどうか。</p>
参事官(兼)生活安全企画課長	<p>令和2年6月に兵庫県内において、ボーガンを使用した殺傷事件が発生したことを受け、ボーガンの安全な使用及び適正な管理を確保するため、使用者の責任を明らかにし、ボーガンの取得に係る届け出を義務化し、安全で安心な県民生活の確保を図ることを目的として制定されたものである。</p> <p>条例の概要については、ボーガンを保管するうえで他の者が容易に持ち出さないよう適正な管理に関する遵守事項、ボーガンを取得した者又は所有する者は県知事の届け出義務、罰則規定等が定められている。</p>
矢吹委員	<p>不審者情報がやまがた110ネットワークにより配信されているがどのような基準で配信しているのか。また、認知された不審者情報のうち、解決した状況はどうか。</p>
人身安全少年課長	<p>不審者情報として配信される情報は不審者からの声掛け、つきまとい、盗撮や痴漢行為などである。平成29年は295件を認知し解決は162件、30年は327件を認知し解決は172件、令和元年は349件を認知し解決は156件となっている。</p>
矢吹委員	<p>警察及び学校における自転車保険の加入促進に向けた周知等の取組状況はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
参事官（兼） 交通企画課長	県防災くらし安心部をはじめ学校、関係機関、団体と連携して自転車安全教室やJRの駅やスーパーなどにおいてチラシを配布するなどの街頭指導を行う際、自転車保険加入義務化の周知を図るとともに、保険加入を呼び掛けている。
保健・食育主幹	令和2年10月末現在、小学校は238校のうち208校が自転車賠償責任保険と同等の機能を有する県PTA連合会安全互助会へ学校単位で加入している。中学校については、自転車通学を許可している87校のうち69校が県PTA連合会互助会等の賠償責任保険に加入している。 高等学校については、全日制公立高校46校のうち43校においてすべての自転車通学生の保険加入を確認している。
矢吹委員	令和3年度当初予算要求概要中、「休日の部活動の段階的な地域移行に向けたモデルの構築（地域人材の活用）」とあるが現段階の検討状況はどうか。
スポーツ保健課長	文部科学省からは、各都道府県に休日の部活動の地域移行に係る実践研究事業を委託し、その研究成果を普及させていくという考えが示されたところであり、県としても当該委託事業を活用し新たなスポーツ環境の構築について研究していく。
菊池（文）委員	可搬式自動速度取締装置の準備状況はどうか。
参事官（兼） 交通企画課長	本令和2年12月下旬に納入予定である。ただし、納入後すぐ運用するわけではなく、機器の取扱いの説明等を受けてからの運用開始となる。
菊池（文）委員	交通安全ありがとう運動の実施状況及び成果はどうか。
参事官（兼） 交通企画課長	交通安全講話において本運動の実践を呼び掛けているほか、関係機関団体に実践協力の要請をしている。また、今年度の信号機のない横断歩道における自動車の停止率は24.8%であり、対前年比で4.4ポイント増加している。
菊池（文）委員	最近県内においてラウンドアバウト（環状交差点）が設置されているが、現在の設置状況はどうか。
参事官（兼） 交通企画課長	長井市のラウンドアバウトについては、平成28年の社会実験を経て、29年から正式に運用され、直近では村山市に設置されている。
菊池（文）委員	巡査長が違反処理を25件放置し訓戒の処分を受けたが、再発防止策として良い職場環境をつくっていくべきと考えるがどうか。
理事官（兼） 警務課長	職場環境づくりの一環として、御意見メール制度に力を入れて取り組んでおり、職員からハラスメントや勤務環境の改善など幅広く意見を受け付ける制度である。この制度の特徴として匿名も可として受け付けており、気兼ねなく、意見等を言えるよう配慮している。
菊池（文）委員	高校の運動部活動の加入状況はどうか。
スポーツ保健	令和2年度の加入率については全生徒のうち58.2%が運動部活動に加入してお

発 言 者	発 言 要 旨
課長	り、男子71.4%、女子は44.6%である。平成30年度、令和元年度と若干下降傾向にあったが、今年度は男女とも若干上昇した。過去10年の状況を見ると男女合わせた加入率が56～60%の間で推移しており、ほぼ横ばい状態といえる。
菊池(文)委員	あかねヶ丘陸上競技場に関して山形県体育施設条例の一部を改正する条例案が提出されているが、今後の競技場の活用について山形市との協議状況はどうか。また、競技場の所有権はどうなるのか。
スポーツ保健課長	県としては、山形市の活用計画をお聞きしながら、無償で貸し付けることをはじめ、丁寧な話を進めていく。競技場の所有権等については法的な問題も含め現在山形市と調整を進めている状況である。
菊池(文)委員	長期入院により病院で学習している児童生徒の状況はどうか。
特別支援教育課長	<p>長期入院している児童生徒については、山形大学医学部附属病院及び県立こころの医療センターに院内学級を設置している。</p> <p>山形大学医学部附属病院については、山形市立蔵王第一小学校、蔵王第一中学校の病弱特別支援学級という設置形態をとっている。</p> <p>また、県立こころの医療センターについては、平成27年開院時から鶴岡養護学校の分教室という設置形態となっている。</p>
菊池(文)委員	各院内学級の教職員等の配置状況はどうか。
教職員課長(兼)働き方改革推進室長	<p>山大附属病院に常勤教員を1名配置とするほか、常勤教員で対応できない教科をカバーする担当として非常勤講師を2名配置しており、様々な学習に対応している。</p> <p>また、こころの医療センターには、正規の教職員を配置している。</p>
菊池(文)委員	夜間中学に関する検討状況はどうか。
義務教育課長	夜間中学のニーズについては、市町村の福祉部局にある相談窓口や各教育事務所のほか、県の若者相談支援拠点となるNPO法人や国際交流協会などにアンケート葉書を設置するとともに、インターネットも活用し幅広く調査し、集約を図ったところであるが、回答が少数であったため、真に必要とする方に情報が届いていたのかという点において検証することとした。現在は、本当に必要とされている方がどれくらいいるのかを把握する調査手法について検討を進めている。
菊池(文)委員	厚生労働省で「ヤングケアラー」について調査すると聞いているが、対応状況はどうか。
義務教育課長	<p>本県でも、小中学生や高校生等が身近な家族の介護をしており、学業が少し停滞している状況などもあると聞いている。</p> <p>調査については厚生労働省が学校を通して児童生徒にアンケート調査を実施するという旨の連絡が文部科学省からあった。</p>